

外務大臣 茂木 敏充 殿
防衛大臣 河野 太郎 殿
防衛省北関東防衛局長 松田 尚久 殿
防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長 和田 善徳 殿

東京都福生市長 加藤 育 男

福生市へのフィンの落下について（抗議）

このことについて、令和 2 年 7 月 7 日（火）午後 7 時 30 分頃、横田基地における米軍の人員降下訓練中に航空機からフィン（足ヒレ）を福生市内の市営牛浜駅西口自転車駐車場付近に落下する事故が発生した。

横田基地では、平成 30 年 4 月に発生した羽村市立羽村第三中学校へのパラシュートの落下、平成 31 年 1 月に 2 日続けて発生したパラシュートの落下及び部品遺失、本年 6 月 16 日に判明した CV-22 オスプレイの部品遺失、更には今月 2 日に立川市内で発生したパラシュートの落下、そして、この度福生市へのフィンの落下事故が発生し、この短い期間において訓練に起因する事故が多発している。

福生市では、東京都及び周辺自治体と連携して、その都度、事故原因の究明、再発防止のための措置、安全確保の徹底及びこれらに係る周辺自治体への説明等を強く要請している。

今般の事故は、立川市内で発生したパラシュート落下事故の原因や再発防止策等について関係自治体に説明するまでの間、訓練を実施しないよう、改めて要請した当日に発生した、人命に関わりかねない大変重大な事故であり、極めて遺憾である。

福生市は、日米安全保障条約に基づく横田基地の運用について、市域の 3 分の 1 を提供し、様々な問題を抱えつつも協力しているが、横田基地周辺は人口が密集した市街地であり、市民は航空機騒音に悩まされ、いつ発生するか分からない事故に不安な毎日を送っている。

市民の安全、安心を守る立場から、このような事故の発生及びこれまでの周辺自治体からの要請に対する対応は、真摯なものではなく、看過できるものではない。このことに対して、強く抗議する。

速やかに、今回の事故の発生状況を調査し、徹底した原因究明を行い、再発防止策を講じるまでは、同様の訓練を中止するとともに、これらのことについて、迅速かつ丁寧な説明を行うこと、また、基地の運用は、「安全」が最優先事項であることについて、改めて認識し、今後とも、周辺住民に不安や危険を与えることのないよう、基地運用に関して、安全対策の徹底を図ることについて、国の責任において米軍に対し要請するとともに、国として真摯に受け止めるよう、強く求める。